

- 17 廊下はシンプルに ☞ 机等があると、避難時に妨げとなる恐れあり！
- 18 ズックのスリッパ履き ☞ 親の頭を踏むようなもの
- 19 教師の足元（履物、机回り） ☞ 子どもなどの急用に即対応できるか？ 現場直行

20 用語を正しく理解する

- マネジメント・・・経営のための資源であるヒト・モノ・カネ・情報・時間を目的（課題解決・テーマなど）に合わせて、効果的・効率的に組み合わせて最大の成果をもたらすこと。
- Society5.0（超スマート社会）・・・人間自身が体験し、協働し、創造していくことに価値があるという、「人間」が中心の社会。
- 熟達・・・経験とともに熟練し、前よりも短時間で、上手に、正確にできるようになること。熟達するには、粘り強さが必要。長く続けられる「根気」と、失敗しても諦めない「打たれ強さ」を兼ね備える。

21 野口芳宏 氏（植草学園大学名誉教授）による教員の資質向上の方策

（時空を超えた人生充実のポイント） ☞ アホカイナ

- 1 「憧れ」る師を持つこと
- 2 「本」を読むこと
- 3 「観」を磨くこと
- 4 「異」に学ぶこと
- 5 「仲間」を選ぶこと

- 22 教育は国家百年の計 ☞ 「好きか嫌いかは自分が決める。良いか悪いかは社会が決める。正しいか正しくないかは歴史が決める。」 不易の正統

- 23 教員の働き方改革 ☞ 効果的・効率的な推進には、まず個人の多様性に着目。学び続ける教員であるためにも、教育者である前に一人の生活者として多様な環境に触れることで新たな発想や経験を得なければならない。 ☞ ワークライフバランスの風土

24 「困った」が言える、受け止められる学校になる（立正大学教授 永井 智 氏）

- 日常場面でのコミュニケーションを十分とる
- 何があったら全力でサポートするという姿勢を誠実に示す
- 相談のタイミングは、教師からの積極的な声かけや、意図的な場の設定が重要である。
- 基本的、可能な限り子どもの確認をとったうえで、一緒に何をするか考えて行く。
- 最も大事な点 ☞ 「学校の先生は自分を助けてくれる」という当たり前の信頼感